

令和4年度

奈良県公立高等学校入学者特色選抜学力検査問題

国語

注意

- 1 指示があるまで開いてはいけません。
- 2 解答用紙には、受検番号を忘れないように書きなさい。
- 3 解答用紙の※印のところには、何も書いてはいけません。
- 4 答えは必ず解答用紙に書きなさい。

一

次の文章を読み、各問いに答えよ。

この部分については
著作権により公表できません

この部分については
著作権により公表できません

この部分については 著作権により公表できません

(高柳克弘『究極の俳句』による)

(注) スラング⇨特定の社会や仲間の間だけに通じる特殊な言葉

スタンブ⇨インターネット上のメッセージに添える、感情や心境を表現

したイラスト

もの多くに⇨もの多くに 公卿⇨大臣などの貴族

河鹿蛙⇨蛙の一種で、雄は美声で鳴く

(一) Aの漢字の読みを平仮名で書き、 Bの片仮名を漢字で書け。

(二) 線①の「から」と同じ意味で使われているものを、次のア⇨エから一つ選び、その記号を書け。

ア 明日から始める。 イ 時間がないから急ぐ。

ウ 先生からほめられる。 エ 奈良から出発する。

(三) 線②と筆者が述べるのはなぜか。その理由として最も適切なものを、次のア⇨エから一つ選び、その記号を書け。

ア 時間が経過しているから。

イ 順序立てて説明していないから。

ウ 牡丹の感動と一緒に味わっていないから。

エ 伝える相手の気持ちを考えていないから。

(四) 線③とはどういうことか。その説明として最も適切なものを、次のア⇨エから一つ選び、その記号を書け。

ア 人々から認められ、自分の活躍の場を広げようとする。

イ 人々に自分の考えを伝え、意見を変えさせようとする。

ウ 人々に自分を合わせ、目立たないようにすること。

エ 人々と交流し、自分の考えを深めようとする。

(五) 高浜虚子が文章中の俳句に「紅ほのか」という言葉を用いた理由を、筆者はどのように考えているか。それを説明した次の内の(一)⇨(四)に当てはまる言葉を、文章中から九字で抜き出して書け。

「紅ほのか」という言葉を用いた方が、「白牡丹」の(一)⇨(四)と考えている。

(六) 芭蕉の俳句の例は、この文章の中でどのような働きをしているか。その説明として最も適切なものを、次のア⇨エから一つ選び、その記号を書け。

ア これまで述べてきた考えとは対照的な考えの例として用い、別の見方を示している。

イ これまで述べてきた考えの例とは別の時代の例として挙げ、時代により考えは様々であることを説明している。

ウ これまで述べてきた考えには当てはまらない例として示し、問題点を明らかにしている。

エ これまで述べてきた考えについての別の例として加え、考えをより確かなものにしていく。

(七) 線④とあるが、芭蕉はどうすることで「あざやかに塗り替えた」のか。簡潔に書け。

(八) 線部を全体の調和を考え、楷書で、一行で丁寧な書き。文章中に、「肉筆」と「メールの文章」について述べられている部分がある。手書きの文字で伝えることについてのあなたの考えを、メール

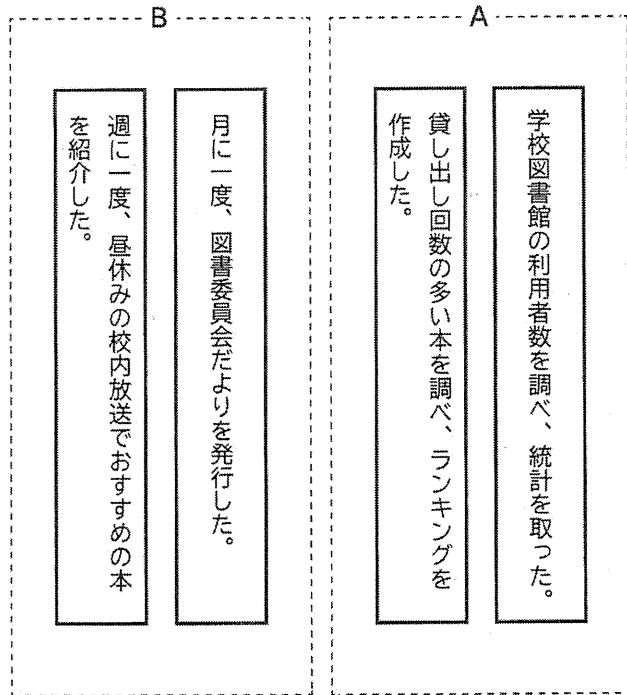
(九) の文章で伝えることと比較し、理由を含めて八十字以内で書け。

二

図書委員である春香さんは、生徒会に提出する活動報告書を作成している。各問いに答えよ。

(一) 春香さんは、今年度の図書委員会の活動を付箋に書き出して、A、Bのように整理した。次の【付箋の分類】A、Bの観点として最も適切なものを、それぞれ後のア〜オから一つずつ選び、その記号を書け。

【付箋の分類】



- ア 校内における広報活動について
- イ 生徒の意見を収集する活動について
- ウ 他の委員会と協働した活動について
- エ 学校図書館の利用状況の調査について
- オ 学校図書館の蔵書数の確認について

(二) 春香さんは活動報告書に、来年度図書委員会として取り組みたい活動についても書きたいと考え、報告書の下書きを作成した。その後、友達のアドバイスにより修正を加えた。次は【報告書の下書きの一部】と【修正後の報告書の一部】である。作成した下書きを読んだ友達からどのようなアドバイスがあったと考えられるか。最も適切なものを、後のア〜オから一つ選び、その記号を書け。

【報告書の下書きの一部】

二 来年度の新たな取り組み

来年度に取り組みたいことは、新たな学校図書館行事の開催である。学校図書館の利用者数は、夏休みや冬休み前には増えるが、その他の月は、一日当たり数人しか利用しておらず、利用者が少ない状況だ。

そこで、利用者数を少しでも増やすために、学校図書館を利用して本に触れる機会となるような行事をたくさん計画し、多くの人に本の面白さを伝えたい。そして、より一層活気のある学校図書館を目指したい。

【修正後の報告書の一部】

二 来年度の新たな取り組み

来年度に取り組みたいことは、新たな学校図書館行事の開催である。学校図書館の利用者が少ない状況を改善するために、学校図書館で本に触れる機会となるような行事をたくさん計画し、開催したい。

例えば、ブックトークを開催したり、貸し出し回数の多かった本の読書会を開き、感想を交流したりするというような行事だ。多くの人に本の面白さを伝えて、利用者を増やし活気のある学校図書館にしたい。

- ア どんな行事を考えているのか、具体例をいくつか挙げて示した方がよいと思う。
- イ 学校図書館の利用状況について、より一層詳細な情報を伝えた方がよいと思う。
- ウ なぜその活動に取り組みたいのか、理由をたくさん示した方がよいと思う。
- エ 中学生が読書をすることの意義や重要性についても、伝えた方がよいと思う。

三

次の文章を読み、各問いに答えよ。

九月二十日あまりのほど、初瀬にまうでて、いとはかなき家にとまりたりしに、いとくるしくて、ただ寝に寝入りぬ。

夜ふけて、月の窓より洩りたりしに、人の臥したりしどもが衣の上に、^③白うてうつりなどしたりしこそ、いみじうあはれとおぼえしか。さやうなるをりぞ、人歌よむかし。

〔枕草子〕による

(注) 初瀬 || 初瀬にある長谷寺 はせでら はかなき家 || 粗末な家
くるしくて || 疲れて

(一) 線①を現代仮名遣いに直して書け。

(二) 線②の意味として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

- ア 少しだけ寝てしまった
- イ はやばやと寝てしまった
- ウ ぐっすりと寝てしまった
- エ うっかり寝てしまった

(三) 線③とあるが、「白く映っていた」ものは何か。それを説明した次の文の() に当てはまる言葉を書け。

(四) この文章中で筆者は、どのようなときに人は歌をよむものだと述べているか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

- ア 何とも言えないなつかしさを覚えたとき
- イ どうしようもない悲しみに沈んだとき
- ウ 人のことをとても気の毒に思ったとき
- エ たいそうしみじみとした趣を感じたとき